

# 淀川水系流域委員会からの報告

淀川水系流域委員会淀川部会長

寺田 武彦

# はじめに

- 淀川水系は、流域に住む人々や生き物にとって多面的・複合的な価値を持つかけがえない存在
- しかしながら、水質の悪化、生物・生態環境の劣化、人と川との係わりの希薄化などの問題が生じている。

## その背景は

- **川・湖の持つ多様な機能を軽視し、もっぱら近代技術の利用に頼った治水対策**
- **河川水をもっぱら水資源として利用・開発**
- **水質保全・生態系保全等の環境的配慮の視点が河川管理に欠落**

# 川づくりを変えていきたいと思ひます！

## 【河川環境】

- きれいな川、安全な水質を目指します。
- 淀川の生物が住みやすい川へ、自然を保全・復元していきます。

## 【利水】

- 水は有限な資源であり、流域全体の共有財産として大切に使用していきます。

## 【治水・防災】

- 大洪水にもろい治水から、水害に対してしたたかに対応する街づくりを目指します。

## 【河川利用】

- 川らしさを生かした利用を優先していきます。

## 【住民参加】

- これからの川づくりの主役は流域のみなさんです。ともに川づくりを進めていきます。